011044 腰部脊柱管狭窄症に対する開窓術

ステップ名称	ステップ１		ステップ２	ステップ３	ステップ４		ステップ５	ステップ６	ステップ７	ステップ８	
	1日前	基準日			1日後	2日後	3日後～4日後	5日後～7日後	8日後～9日後	10日後～11日後	12日後
		術前	術中	術後							
到達目標	リハビリテーションの必要性と方法が理解できる			合併症なく経過する	合併症なく経過する		創痛なく歩行器歩行ができる	創痛なく自力歩行ができる		日常生活の注意点を理解し退院できる	
	手術に対する心身の準備ができる			創痛がコントロールできる	創痛がコントロールできる			正しい姿勢でシャワー浴ができる			
					コルセットを正しく装着できる						
					立位が保持できる						
処置	コルセットが準備できているか確認します	手術前に手術衣に着替え、弾性ストッキングを着用します		尿の管が入っています	尿の管が入っています	尿の管を抜きます		6日後に傷の消毒をします	8日後に抜糸をします		10時ごろ退院です
	弾性ストッキングのサイズを測ります			指示により酸素ﾏｽｸ、心電図モニターなどをつけます	心電図モニターをはずします				9日後に傷にはってある防水フィルムをはがします		
	浣腸をします			空気圧マッサージ機をつけます	昼頃に持続点滴を抜きます						
					傷の消毒をします						
					腰の管を抜きます。排液量によっては翌日に抜きます。						
					足の運動ができるようになれば空気圧マッサージ機をはずします						
検査			手術中にレントゲンをとります		血液検査をします				8日後に血液検査をします		
体温・呼吸・循環	入院時に体温脈拍などをはかります	手術室へ行く直前に体温脈拍などを測ります		適時、体温脈拍などをはかります	状態に応じて体温、脈拍などを測ります	10時、19時頃に体温脈拍などを測ります	適宜体温、脈拍などを測ります	10時に体温、脈拍などを測ります	10時に体温、脈拍などを測ります	10時に体温、脈拍などを測ります	
注射		午前手術の方は、手術室で点滴をします	手術中に抗生剤の点滴をします	持続点滴をしています	終了後点滴を抜きます 抗菌薬の点滴を行ないます						
投薬	持参薬があればお知らせください	午前6時 指示のお薬があれば飲みます			朝から処方薬が始まります						
	入院後の内服薬の服用について説明があります										
清潔・排泄	入浴してください	手術30分前に排尿を済ませてください			身体を拭きます			5日後 創部に防水フィルムを貼付したらシャワー浴ができます			退院後、入浴できます
	顔とからだの前面に保湿剤を塗布します	排便の確認をします									
		歯磨きをしてください									
食事	夕食後から絶食です お茶・水は飲めます	朝から絶食 朝7時以降水分は取れません		6時間後主治医の許可があれば水分が飲めます	朝から食事が始まります コルセットをつけるまで寝たまま横向きで食べます						退院後、制限はありません
活動・安静度	制限はありません			ベッド上安静です		コルセット装着し立つことができます					退院後、重労働やスポーツは医師の許可があるまでできません
				看護師の介助のもと体の向きをかえます	腰の管が抜けたらコルセットを装着しご自分で横向きになる、坐位になることができます	車椅子に乗れます					
教育・指導・説明・リハビリ	主治医から手術について説明があります			家族の方へ主治医から手術後の説明があります	腰、足の痛みなどがありましたらお知らせください			運動療法があります コルセットのつけ方について説明します	運動療法があります		次回外来受診日を確認します
	薬剤師から薬について説明があります				薬剤師から薬について説明があります	運動療法があります		5日後シャワー浴時の注意事項について説明します			
	看護師から手術について説明があります				自分で体の向きをかえる方法を説明します						
	特別な栄養管理の必要性（有）				主治医から手術後の説明があります						
	理学療法士が運動機能について調べます				運動療法があります						
書類	入院診療計画書をお渡しします										退院療養計画書をお渡しします
	リハビリテーション総合実施計画書をお渡しします										
	手術同意書、麻酔同意書、輸血同意書を看護師詰所に提出してください										
手術											